



エコパートナーシップうじたわら

うじたわらの木くん

～茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまら～

発行日：平成 29 年 11 月 26 日（第 70 号）

編集・発行：エコパートナーシップうじたわら広報部会

事務局 TEL（88）6639 FAX（88）3231

エコクッキングを開催します

12月2日（土）午前9時～午後2時

維孝館中学校調理室

身近な旬の材料をあますことなく使い、無駄を省きながら健康に良いメニューを考える「エコクッキング」。今回は冬の野菜などを使って、体にも環境にもやさしいものを作しましょう。

- ・材料費：500 円
- ・参加希望者は事務局（役場建設環境課：88-6639）までお申し込みください。



食材ひと口メモ

宇治田原の特産品のひとつ、古老柿。

「つるのこ」という渋柿の皮をむいて柿屋に干して作りますが、むいた皮も干せば甘みがでてきます。それを漬物に入れて使う人もいて、エコクッキングでは粉末にしたものを材料の一つとして有効活用します。

他にも、普通なら捨てられるような玉ねぎの皮なども煮出してお茶にするなど、有効に使います。

ふるさと自然体験ハイキングを実施しました

11月12日（日）、ふるさと自然体験ハイキングを開催し、15名の参加者が総合文化センターから立川を經由して「家康伊賀越えの道」をたどり、湯屋谷の永谷宗円生家をめぐりました。

ハイキングは夏原グラント助成事業の「ふるさとの自然環境保全のための基礎資料調査」を兼ねており、道中で植物や岩石などを観察しました。赤いカラスウリと白いスズメウリ、立川の澄んだため池の水草ヒルムシロ、湯屋谷の地層で観察できる化石や「豆石」など、季節や地域の特徴的な自然を学びました。

永谷宗円生家では、地元「宗円さんの里づくり会」の方々によるあたたかいおもてなしを受け、茶宗明神社や「宇治田原茶発祥伝承地」（大福谷）など、地域の歴史にまつわる旧跡を巡りました。

次回の調査を兼ねた環境学習は来年3月3日（土）に予定しています。



立川の大道寺



永谷宗円生家



この事業は平和堂財団環境保全活動助成事業「夏原グラント」の助成を受けて実施しています

身近なところで考える温暖化問題

今日（11月2日）は子供たちと日頃から楽しみにしている芋ほりを実施。地域子育てネットワーク事業のひとつで、若いお母さん方の参加も多く、朝から自然とテンションが上がり気味。

ところが事業が始まるや最初の期待は暗転。せっかく育てた芋は野生動物に食べまわられて収穫はゼロ。数年前までは捨てるほどの収穫があったのに。

「リスクとチャンス」の到来。リスクが起こった時、それをチャンスに変えようとするポジティブ思考。自分の好きな考え方である。この機会をとらえ、子供たちに一席ぶとうと瞬時に判断。

「地球温暖化は予想以上のスピードで進んでいる。温暖化の影響で動物の食べるものが減った。山での競争に負けた動物がやむを得ず我々の生活エリアにまで進出し、物を食い荒らす。君たちは生きた証人だ。いい経験をしたな。」

しかし子供たちの反応は薄く、心なしか自分を見つめる視線が鋭く見える。

「そんなことを芋が取れない言い訳にするな。そもそも温暖化を加速させたのはあなたたちの世代ではないか。」

そう批判されているように思い、更に落ち込み帰宅した。（芦原 昇）

※事務局注

近年は町内に限らず、野生動物による農作物や人への被害が問題になっており、温暖化による冬季の気温上昇で積雪量が減少し、生き延びやすくなったこと、山間部の人口減少や狩猟圧の低下により人の生活圏に近づきやすくなり、耕作放棄地に残された農作物や人が廃棄した食料などを餌にするようになるなど、複合的な要因が考えられます。

また、温暖化を逆手にとって、農業分野では新たな作物や品種を導入するなど、「適応化」の取り組みも行われています。

映画「不都合な真実2 放置された地球」公開

10年前、世界に衝撃を与えたアル・ゴア元アメリカ副大統領が、現在進行している環境問題について警告した映画の第2弾が17日から公開されています。この10年間に世界はどう変わったのか？これからどんなことが起こると予想されるのか？環境問題を考えるに必見の映画です。

TOHO シネマズ二条（JR二条駅前）、TOHO シネマズ梅田（JR大阪駅、地下鉄梅田駅等）等で公開中

エコパートナーシップうじたわら賛助会員

宇治田原工業団地管理組合、協栄開発株式会社、株式会社宇治田原製茶場、宇治田原町区長会、宇治田原町森林組合、株式会社馬場義電気、株式会社播磨園製茶、有限会社富山資源開発、宇治田原町商工会、宇治田原新聞サービス本舗株式会社、濱田プレス工藝株式会社、宇治田原町（敬称略・順不同）

お問い合わせ先：エコパートナーシップうじたわら事務局（宇治田原町建設事業部建設環境課内）

〒610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出 10

TEL 0774-88-6639 FAX 0774-88-3231 Eメール：junkan@town.ujitawara.lg.jp

会報のバックナンバーをご覧ください

宇治田原町役場ホームページ「トップ」⇒「環境衛生」⇒「エコパートナーシップうじたわら」

エコパートナーシップうじたわら facebook ページ公開中



茶文化の源 水・緑・生命の環^わを育む和みのまち 宇治田原